

「地域おこし協力隊」を募集します

陸別町では、令和3年度の地域おこし協力隊員を次のとおり募集します。
 地域おこし協力隊員の活動期間は3年以内ですが、期間終了後には、陸別町で起業又は就業により定住を目指していただくものです。

1. 募集概要

職名	活動の内容
酪農支援推進員	①酪農の研修 ②酪農ヘルパーとの協働・研修 ③新規就業の準備 ④地域活性化関連業務
農業環境支援推進員	①バイオガスプラント（令和4年稼働予定）の設立準備 ②稼働後のバイオガスプラントの運営 ③地域活性化関連業務
りくべつ鉄道運行支援推進員	①運転士補助 ②運行保安 ③鉄道施設整備 ④鉄道窓口支援 ⑤町内イベント支援 ⑥その他関連業務
商工観光推進員	①商工業・観光振興支援 ②市街地活性化支援 ③体験型事業支援 ④町内イベント支援 ⑤その他関連業務

2. 募集対象 : ・3大都市圏又は3大都市圏外の都市地域に居住している方で、採用決定後に陸別町に住民票を移して居住できる方。
 ・20歳以上の方（酪農支援推進員のみ20歳以上35歳以下の方）
3. 募集人数 : 各1名
4. 募集期間 : 令和3年3月5日まで
5. 報酬 : 月額176,322円以上（賞与・時間外手当あり）
6. 任用期間 : 任用の日～令和4年3月31日まで
 （勤務実績等により最大3年間、1年度ごとに更新する場合があります。）

- ※ 1. 上記内容でご希望のご家族、ご親戚、ご友人等の方がいらっしゃいましたらご紹介下さい。（ターン・Uターンの方も歓迎します。）
2. 応募用紙やその他要件などの詳細は、陸別町ホームページまたは、下記へお問い合わせください。

【問い合わせ・申込先】陸別町役場総務課企画財政室チャレンジプロジェクト担当（27-2141 内線:215）

※ 裏面もあります

地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊とは

- **制度概要**：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。
- **実施主体**：地方公共団体
- **活動期間**：概ね1年以上3年以下
- **地方財政措置**：
 - ◎ 地域おこし協力隊取組自治体に対し、概ね次に掲げる経費について、特別交付税措置
 - ① 地域おこし協力隊員の活動に要する経費：隊員1人あたり440万円上限
(報償費等240万円〔※〕、その他の経費(活動旅費、作業道具等の消耗品費、関係者間の調整などに要する事務的な経費、定住に向けた研修等の経費など)200万円)
※ 隊員のスキルや地理的条件等を考慮した上で、最大290万円まで支給可能とするよう弾力化することとしている(隊員1人当たり440万円の上限は変更しない。)
 - ② 地域おこし協力隊員等の起業・事業承継に要する経費：最終年次又は任期終了翌年の起業する者又は事業を引き継ぐ者1人あたり100万円上限
 - ③-1 地域おこし協力隊員の募集等に要する経費：1団体あたり200万円上限
 - ③-2 「おためし地域おこし協力隊」に要する経費：1団体あたり100万円上限
 - ◎ 都道府県が実施する地域おこし協力隊等を対象とする研修等に要する経費について、普通交付税措置(平成28年度から)
 - ◎ 都道府県が実施する地域おこし協力隊員OB・OGを活用した現役隊員向けのサポート体制の整備に要する経費について、普通交付税措置(令和2年度から)



地域おこし協力隊導入の効果

～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取組～

地域おこし協力隊

- 自身の才能・能力を活かした活動
- 理想とする暮らしや生き甲斐発見

地域

- 新々な視点(ヨソモノ・ワカモノ)
- 協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与える

地方公共団体

- 行政ではできなかった柔軟な地域おこし策
- 住民が増えることによる地域の活性化

隊員数、取組団体数の推移

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
隊員数	89人	257人	413人	617人	978人	1,629人 (1,511人)	2,799人 (2,625人)	4,090人 (3,978人)	4,976人 (4,830人)	5,530人 (5,359人)	5,503人 (5,349人)
団体数	31団体	90団体	147団体	207団体	318団体	444団体	673団体	886団体	997団体	1,061団体	1,071団体

※総務省の「地域おこし協力隊推進要綱」に基づく隊員数
 ※平成26年度以降の隊員数は、名称を統一した「田舎で働き隊(農林水産省)」の隊員数(26年度：118人、27年度：174人、28年度：112人、29年度：146人、30年度：171人、元年度：154人)と合わせたもの。カッコ内は、特別交付税算定ベース。

隊員の約4割は
女性

隊員の約7割が
20歳代と30歳代

任期終了後、約6割が
同じ地域に定住
※H31.3末調査時点